

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・環境方針を定め、環境保全宣言をしている			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針を定めている 【予定】「TCFD」に基づく機会とリスク及び取組についての開示を検討している												12.6							
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2							13					
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・コンクリートの使用量を減らし、代わりに現場発生土を使用する「INSEM工法」の開発、活用の推進を図っている												12.2	13	14	15				
公正な事業 慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																	16	16.5	
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス規程に健全な競争と公正な取引の維持について定めている ・研修の実施による社員の意識向上とコンプライアンス体制の整備を図り、行動するよう啓蒙している																		16	
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理している ・新規事業の検討において、担当及び弁護士が協力して契約書の締結・特許申請等を検討するとともに、特許侵害調査を実施している									8.2	8.3	9								
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報取扱規程に定め、体制を整備している ・社内研修を行い、情報管理ルールを周知徹底している																			16
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の取り扱いは行っていない																			16
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・購買管理規程に購入先選定要件を設け、適切な購入先の選定に努めている ・法令・規定・基準に則った業務プロセス及びルールが策定され、業務遂行において社員が順守している ・購買部門に限らず、全社的に定期的な業務監査を行っている ・事業パートナーとの反社会的勢力書面の締結					5				8			10	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ISO/IEC17025を取得している(2006年3月取得) ・サービス提供に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している			3.9									12.4							
	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO/IEC17025を取得している(2006年3月取得) ・顧客からのアンケートやクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・年間を通じ、品質方針計画策定、管理の実施、有効性評価、是正・改善を実施し、マネジメントレビューを行っている																		9	
	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・民間工事等において、環境負荷の少ない工法を提案している ・砂防ソイルセメント工法の開発、活用の推進 ・省資源、省エネルギーに配慮したラボの自動化を推進している(自動試料分取機、WEB立会「ラボコネ」、オンライン取引等)						6						12	13	14	15				
	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・コア事業が社会課題と密接に関係しており、常にインフラや環境に関する社会課題に寄与できるように努めている ・特定の社会課題解決をテーマとした技術開発やサービス提供を行っている(ROAD-Sなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
32	□ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・当社事業である社会インフラ整備に関わる調査・試験サービスを通じて、安全・安心な生活への貢献を目指している ・地域行事への積極的な参加による対話、事業の地域への影響の把握を行い、改善に努めている				4						9		11	12		14	15		17			
33	□ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・県の災害時における緊急調査に登録している ・地域の次世代を担う人材(学生・子ども等)への交流・育成機会(職場見学・体験、インターンシップ、出前授業)を提供している ・社屋にAEDを設置、社員教育を行い、地域の安全・安心のための活動を実施している ・河川、湖の清掃や社屋周辺のゴミ拾い等を定期的に行っている ・年1回会社にて献血に協力している ・地域のお祭りに参加している				4								11			14	15		17			
34	□ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・人的資源という意味で、地域に密着している企業との継続的な関係を大事にし、協力業者として長期的な付き合いを心掛けている										8	9		11	12	13						
35	□ 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、経営計画書等を通じて、適時、経営目標を社員に説明し、共有している																			17		
36	□ 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・コンプライアンス規程に定め、意識の向上とコンプライアンス体制整備を図っている ・コンプライアンス研修を定期的に行っている																			16		
37	□ 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する部署として、企画部を設置している																			16		
38	□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・適宜ステークホルダーと対話する場を設け、自社活動への理解を深めていただくとともに、当社に及ぼす影響について把握し、対応している ・定時株主総会の開催、IR資料の開示、株主アンケートの実施等、株主との対話の機会を設けている ・イベントへの参加やセミナー開催、顧客満足度アンケート等を実施し、当社のサービスへの理解を深めていただくとともに、お客様の要望・課題を伺う対話の場としている																			16	17	
39	□ 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・年間を通じ、リスク管理に関する計画策定、管理の実施、有効性評価、是正・改善を実施し、マネジメントレビューを行っている ・ISO17025を取得している(2006年3月取得)																			16		
40	□ 【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の次世代を担う人材(学生・子ども等)への交流・育成機会(職場見学・体験、インターンシップ、出前授業)を提供している 【予定】社会的価値のあるサービスを創出する事業活動と共に、あらゆる企業活動を通じて、環境・社会・経済との調和を保ち、社会の持続的な発展に貢献すべく、CSR活動方針を策定する 【予定】自社活動でSDGsの紐づけにより、CSR活動のブラッシュアップ及びそのHP掲載																			16		
41	□ 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・非常食の配備、非常用発電機を設置している ・災害対策として初動対応計画(IMP)を策定し、定期的な訓練を実施している 【予定】事業継続計画(BCP)を立案中であり、完了次第運用を開始する																		9	11	13 13.1	16
42	□ 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補を教育・育成している																		8	9		17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
PS・FC事業	人材不足が進む土木業界(当社)と事業の収斂に悩む地元密着した企業と提携し、地元企業の社員が外向、当社で教育することで現場社員として活躍を推進している。その後教育された社員は地元企業に戻りFC展開を行う。互いの懸念材料活かし成長するパートナーシップ事業を展開している。									8	9		11										17
BATON PJ	ジェンダー平等を実現するためにBATON PJを立ち上げ、次世代にBATONを繋ぐために両立支援と女性活躍(働くすべての人が活躍できる土壌を醸成)を主として活動を行っている。					5			8														

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)